

# STEP BY STEP

～一歩一歩確実に～

西陵中学校  
第1学年 学年通信

Vol. 38

令和2年12月14日(月)

## 一歩一歩確実に!!

1年の3つの学期を「ホップ・ステップ・ジャンプ」と分ければ、中学校生活を始めたばかりの1学期は「ホップ」(コロナのために休校もありましたが)、そして学校にも慣れてきて様々な行事に参加した2学期は「ステップ」にあたります。1学期はすべてに不安で手探り状態だった人も、2学期には余裕もでてきて、3学期の大きな「ジャンプ」に向けて土台を築くべく足場を固めることはできたでしょうか。体育祭から始まって、中間テスト、中体連新人戦、文化祭、期末テスト、人権学習と行事や様々な取り組みに追われながらも、気がついたらもう終業式になっていたという人も多いのではないのでしょうか。行事は学校生活の柱の1つであり、しっかり取り組むことで学校生活そのものが充実し、自分自身も大きく成長できる取り組みです。事実、この2学期には、行事を通して大きく成長したと感じる人がたくさんいました。行事ごとに積極的に参加できていた人は、きっと価値のある2学期を送れたことでしょう。3学期には1年生の一番の行事である「自然教室」があります。自然教室を楽しく充実したものにみんなでしていきましょう。そして、みんなで成長しましょう。

### <学習面>

中学校への慣れから緊張感が薄れ、授業への取り組みがいい加減になった人がいます。忘れ物が多い人、提出物が出せてない人、授業中の私語やよそ事など集中力の足りない人、宿題のプリントの答えを写している人など、日ごろの努力が足りないと感じる人がやや固定化してきています。中学校の成績は、テストの点数だけではつきません。それどころか、日ごろの発言や様子などが占める割合はとても大きいのです。小学校の時にはしっかり学習ができてたくさん「学習の貯金」をしてきた人は、これまではそこそこの成績が取れていたかもしれませんが、しかしそのような人でも、中学校へ入ってからこつこつと学習に取り組めていなければ、そろそろその貯金も使い果たし、こんなはずではなかったという結果が出てくるでしょう。3学期に大きく「ジャンプ」するためにも、今が自分の学習への取り組みを見直すよい時期だと思います。それを3学期に活かして下さい。また、授業は学級の仲間全員で作るものです。学級の一人ひとりの熱心な取り組みは、とても学習効果の高い授業を作り出していきます。逆に一人でも意欲がないと、結果的に学級の全員に迷惑がかかることとなります。つつい私語や勝手な発言をする人は、自分はそれで満足かもしれませんが、他の人の授業集中の妨げになっているのです。3学期は、学級の全員が一人のいい加減な授業の受け方も許さないという心がけで、「静かにしよう!」「集中しよう!」など、そういう人に働きかけをして、みんなで頑張っていきましょう。

### <生活面>

2学期はみんなの表情がとても明るく、友達も増え、休憩時間も本当に楽しそうです。しかしその反面、一緒にいる友達が固定化されてきたり、心無い言動でもめ事になることもありました。特に、男子は幼稚な行動がまだ多いと感じます。女子は友達関係の変化が見うけられます。自分にとってその友達がプラスになる存在なのかということを見抜く力がだんだんついてきているので、いい加減な友達関係をしていると、いつの間にか友達がいなくなってしまうこともあります。いつも周りに求めるだけでな

く、自分が周りにとって良い存在になれるよう努力していきましょう。

### ＜部活動＞

たくさんの方が部活動に一生懸命に取り組んでいます。時にはうまくいかずにくじけそうになるときもあるでしょう。しかし、「困難に立ち向かいこつこつと続けて努力する」といった部活動で培われる力には大きなものがあります。自分はこんなもんだと決めつけることなく、しっかり目標を持ち、始めたからには3年生で引退するまでがんばって続けてほしいと思います。

いずれにせよ、自分のやったこと・言ったことが、先々どんな結果をもたらすかをよく考えて行動できる力、つまり先を見越して行動できる力を身につけて下さい。その力はこれからの中学生生活、そして高校入試にいたるまでとても重要で必要な力であり、先を見越した行動は、結果的に自分や友達を大切に作る生活を作り出すのです。

一番難しい年頃を迎える時、教師は保護者の皆様とともに子どもたちのまっすぐな成長を願い、期待し、そして応援していきたいと思えます。自然教室では、リーダー会を中心に組んでいく予定です。学年全員が寝食を共にする2日間ですから、楽しく有意義な教室になるようにみんなで努力していきましょう。スキーも少しうまくなるといいですね。

12月15～17日の三者懇談会、続いて自然教室説明会を18日に予定していますので、お忙しいとは思いますが、どうぞご参加ください。